

事務事業名	真岡市中郷・萩田土地区画整理支援事業				担当	建設部 区画整理課 中郷・萩田指導係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8193		
施策名	2	良好な市街地の形成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	区画整理法、真岡市土地区画整理事業負担金交付及び運営資金貸付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	4都市計画費	2土地区画整理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（平成23年度～平成36年度）		
事業概要	土地区画整理組合施行による中郷・萩田土地区画整理事業は、重要な都市施設を含み、極めて公共性が高いことから、事業の円滑な推進のため、中郷・萩田土地区画整理組合に対し技術的、資金的支援を実施する。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）			⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
26年度実績 基本事業費負担金 82,143 組合負担金 67,900 計(千円) 150,043			名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
27年度計画 基本事業費負担金 238,356 組合負担金 160,000 計(千円) 398,356			ア 支援額	千円	44,328	35,248	70,673	150,043	398,356
			イ 技術支援職員数	人	2	2	3	4	5
			ウ						
			エ						
			オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中郷・萩田土地区画整理組合			⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
			名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
			ア 土地区画整理区域面積	ha	17.1	17.1	17.1	17.1	17.1
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 中郷・萩田土地区画整理事業の円滑な推進			⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
			名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
			ア 事業の進捗率	%	2.1	4.0	7.7	16.9	28.8
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 住環境水準の向上や良好な街並みの形成を図る。			⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
			名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
			ア 良好な市街地形成に対する市民の満足割合	%	81.0	81.5	81.7	83.0	83.7
			イ 市街化区域の整備率（工業団地含む）	%	73.4	73.8	74.2	74.5	74.9
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移			単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	44,328	35,248	70,673	150,043	0	
		事業費計(A)	千円	44,328	35,248	70,673	150,043	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	4	0	
		延べ業務時間	時間	16	3,400	5,100	6,800	0	
		人件費計(B)	千円	68	14,287	20,726	28,703	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	44,396	49,535	91,399	178,746	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成8年度より都市基盤整備の気運が高まり、平成23年度に中郷・萩田土地区画整理組合が設立された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	地区内に、芳賀赤十字病院が建設されることとなった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	中郷・萩田土地区画整理組合関係者・議会から事業の早期完成のための支援を強く要望されている。 また、芳賀赤十字病院の開院に合わせた事業進捗が望まれている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 良好な都市基盤整備は市の責務である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 中郷・秋田土地区画整理組合による土地区画整理事業は、良好な都市基盤整備に寄与する公共性の高い事業である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 中郷・秋田土地区画整理事業の円滑な事業推進のため支援するものである。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 中郷・秋田土地区画整理組合に対して適正な技術的、資金的支援を行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 中郷・秋田土地区画整理事業の計画的な推進が困難となる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 支援を削減すると計画的な事業推進が図れず事業の長期化に直結する。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事務量であり削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 都市基盤整備は市の責務である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							